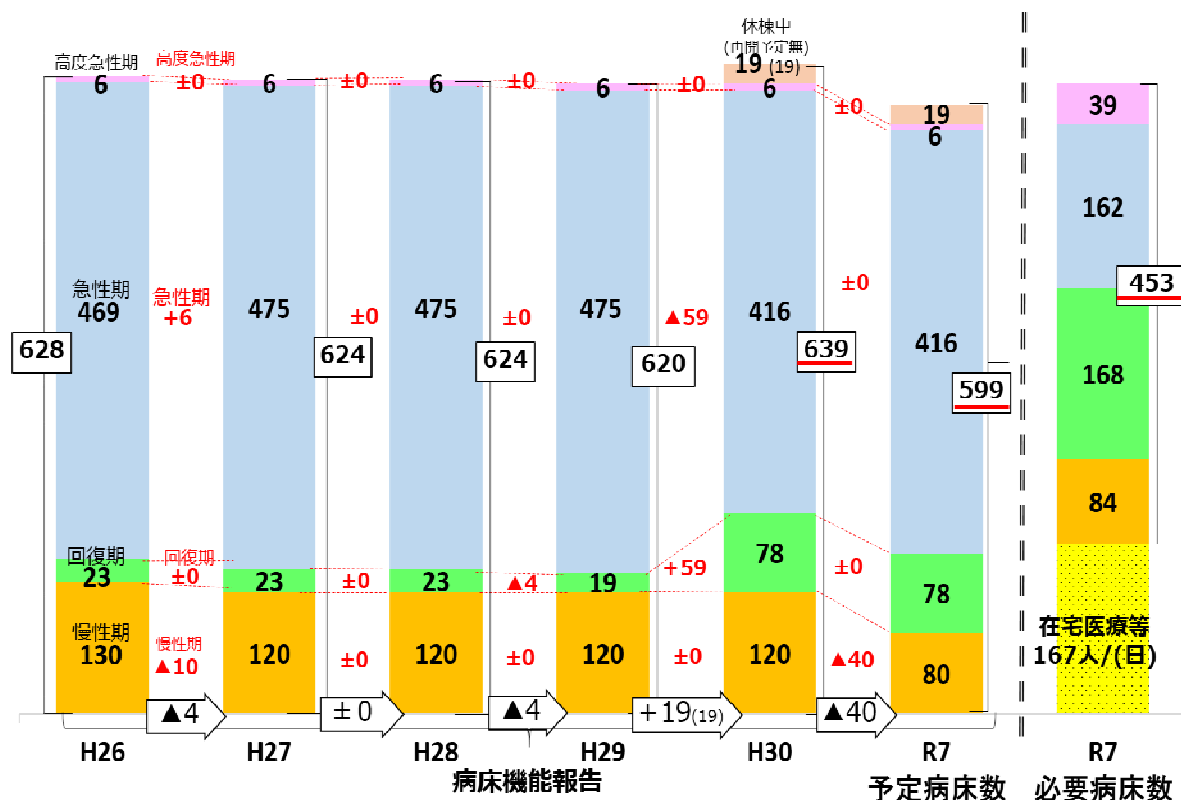


平成30年度 病床機能報告の結果（病床の機能分化・連携の状況）下北地域

資料2-2

- ・H29→H30 急性期▲59、回復期+59
- ・下北地域のH30病床機能報告の病床数639床は令和7年における必要病床数453床から186床多い。
- ・慢性期のうち在宅医療で対応可能とした167人/日分の在宅医療の整備が必要。

1. 圏域全体



(単位: 床)

	H26 病床機能報告	H27 病床機能報告	H28 病床機能報告	H29 病床機能報告	H30 病床機能報告 ①	R7 必要病床数 ②	②-①
高度急性期	6	6	6	6	6	39	33
急性期	469	475	475	475	416	162	△ 313
回復期	23	23	23	19	78	168	149
慢性期	130	120	120	120	120	84	△ 36
在宅医療等							
休棟中等	0	0	0	0			0
休棟中等 (再開予定有)					0		
休棟中等 (再開予定無)					19		
無回答	0	0	0	0	0		0
合計	628	624	624	620	639	453	△ 186

2. 令和7年(2025年)の予定

区分	市町村	施設名称	時点	医療機能区分							
				高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等 (再開予定有)	休棟中等 (再開予定無)	介護保険施設等	全体
病院	むつ市	むつ総合病院	H30年7月1日	6	311	59					376
			R7年7月1日	6	311	59					376
	むつ市	むつリハビリテーション病院	H30年7月1日				120				120
			R7年7月1日				80			(40)	80
	大間町	国民健康保険大間病院	H30年7月1日		48						48
			R7年7月1日		48						48
	下北地域病院 小計		H30年7月1日	6	359	59	120	0	0	0	544
			R7年7月1日	6	359	59	80	0	0	(40)	504
診療所	むつ市	医療法人白心会 北村医院むつレディスクリニック	H30年7月1日		19						19
			R7年7月1日		19						19
	むつ市	国民健康保険 川内診療所	H30年7月1日		19						19
			R7年7月1日		19						19
	むつ市	国民健康保険 大畑診療所	H30年7月1日		10						10
			R7年7月1日		10						10
	むつ市	中村眼科クリニック	H30年7月1日		9						9
			R7年7月1日		9						9
	むつ市	田村胃腸科内科医院	H30年7月1日						19		19
			R7年7月1日						19		19
	東通村	一部事務組合下北医療センター 東通村診療所	H30年7月1日			19					19
			R7年7月1日			19					19
	下北地域有床診療所 小計		H30年7月1日	0	57	19	0	0	19	0	95
			R7年7月1日	0	57	19	0	0	19	0	95
下北地域 合計			H30年7月1日	6	416	78	120	0	19	0	639
			R7年7月1日	6	416	78	80	0	19	(40)	599

3. 前年度報告内容との比較

区分	市町村	施設名称	医療機能区分							
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等 (再開予定有)	休棟中等 (再開予定無)	休棟中等 (再開予定無)	全体
病院	むつ市	むつ総合病院	6	▲59 311	59					376
	むつ市	むつリハビリテーション病院				120				120
	大間町	国民健康保険大間病院		48						48
	下北圏域病院 小計		6	▲59 359	59	120	0	0	0	544
	むつ市	医療法人白心会 北村医院むつレディスクリニック		19						19
	むつ市	国民健康保険 川内診療所		19						19
	むつ市	国民健康保険 大畑診療所		10						10
	むつ市	中村眼科クリニック		9						9
	むつ市	田村胃腸科内科						19	19	19
	東通村	一部事務組合下北医療センター東通村診療所			19					19
	下北圏域有床診療所 小計		0	57	19	0	0	0	19	95
	下北圏域 合計		6	▲59 416	59	120	0	0	19	639

【前年度報告結果との増減要因(対前年度)】

むつ総合病院
 急性期▲59
 回復期+59

田村胃腸科内科(+19)
 休棟中棟(再開予定無)+19

【考 察】

- 急性期と慢性期の医療機能で、病床機能報告による病床数が将来の必要病床数を上回っている。
- 入院医療から在宅医療へ移行することが可能と推計される患者数は167人で、在宅医療提供体制の新たな整備が必要である。